

RCSB MAG-Z BOOST PE 1000スプール G1

取扱説明書

この度はRCSB MAG-Z BOOST PE 1000スプール G1をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品は、PEラインの使用を前提に開発されたPE専用スプールです。本製品を正しくご使用いただくために、ご使用前
にこの取扱説明書をよくお読みください。また、製品同様にこの取扱説明書も大切に保管していただきますようお願い
申し上げます。

【標準巻糸量】	PE#1.0(0.13mm)–200m
	PE#1.5(0.18mm)–150m

※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・
テンションにより異なります。

【使用可能機種】	・RCSバイトキャストイングリール1000番 ゼロシャフトスプールシリーズ
----------	--

※最新の情報は製品対応検索システムを
ご覧ください。



- ①糸が勢いよく出ているときは、糸に触れないでください。糸で指を切るおそれがあります。
- ②幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪我につながるおそれがあります。
- ③糸が勢いよく出ているときは、スプールの上に指を置かないようにご注意ください。火傷や、指をはさんで怪我をするおそれがあります。

●安全上・ご使用上の注意



- ①本製品の組み立て、取り付けに伴いましてリールの分解が必要となります。適正な工具をご使用ください。怪我や破損のおそれがあります。
- ②落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ③リールの部品や本製品にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないようにご注意ください。
- ④組み立て、取り付け作業後は正常動作を確認ください。
- ⑤分解作業時の部品紛失にご注意ください。
- ⑥部品が固着している際は無理に外すとリールの破損につながるおそれがあります。ご注意ください。
- ⑦本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使わないでください。
- ⑧本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。
- ⑨塩分を含んだ海水で糸が濡った状態のまま保管するとスプールが腐蝕するおそれがあります。水道水を巻

糸部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから保管してください。

- ⑩シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装が剥がれたりすることがあるので、ご使用にならないでください。
また、上記が手についたまま本機を扱うこともおやめください。
- ⑪製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ⑫使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量、巻糸状態に差異が生じることがあります。
- ⑬弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証できません。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理は場合によってはお断りさせていただくことがございますのであらかじめご了承ください。

●取扱い・保管上の注意

- ・海水でご使用された後は、スプール外周の水分をタオルなどで拭き取ってください。乾いて塩分が結晶化すると、スプールやフレームを傷つけてしまう場合があります。
- ・根掛かりしたときに、スプールを指で押さえてラインを切ることはおやめください。スプール変形の原因になります。必ず手でラインを持って根掛かりを外すようにしてください。
- ・なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間(自動車のトランク、ダッシュボード等)に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。
- ・スプールは、落下などのショックで変形してしまうと、スプール性能が発揮されなくなります。お取り扱いには十分ご注意ください。

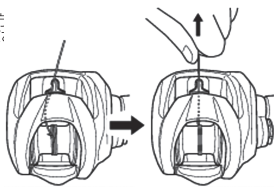
- ・PEライン専用設計スプールです。PE以外のラインは使用しないでください。ラインの伸縮によるスプール変形などのリスクがあります。
- ・500g以上の強いテンションでラインを巻かないでください。スプール変形の原因になります。
- ・細糸PEラインを使用する場合、トラブルが発生しやすくなります。フレームとスプールの間(隙間)にラインが噛み込む症状や、巻糸面での上糸と下糸のライン同士での食い込み症状などが発生しやすくなります。ラインの噛み込みや食い込みは必ず直してから次のキャスト動作へ移ってください。マグダイヤルを強めに設定するが、ラインを巻き過ぎないようにするなどあらかじめご注意ください。

●スプールの交換方法及び、お手入れ方法

スプール取り外し方法及び、お手入れ方法
リール本体の取扱説明書をご確認ください。

●スプールにPEラインを巻きはじめるときの結び方

- PEライン使用に際しては、スプール巻糸面がラインが空転するトラブルを防止するため、3回から5回程、糸をスプールに巻き付けた後、しっかりと結び付けてください。また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認してから、糸巻きを開始してください。
- ※スプール巻糸時(下巻きラインに対しても同様)にテープやシールで固定するのはおやめください。テープやシールで固定するとスプールの回転バランスが崩れ、「ブーン」、「キーン」といった異音が発生します。
- ※テープ貼付によるわずかなバランス変化もキャスト時のノイズの原因となります。



※ラインを直接スプール面にしっかりと結び付けてください。
結び付け方が弱い場合、スプール底面でラインがすべり、しっかりとラインを巻き取れないおそれがあります。

注意

●PEラインキャストのコツ

はじめに…本製品は、PEラインを、よりトラブルレスにキャストすることができるように開発されておりますが、**PEラインの特性上、全くトラブルが無くなる訳ではありません。**使いこなされるには、「慣れ」という部分が不可欠です。あらかじめご了承ください。

1. 最初からフルキャストをせずに、徐々に距離を伸ばしていくように心掛ける。
 - その日の釣りの状態では、スプールに巻かれたPEライン同士がくっついていたり、下のラインに上のラインが食い込んでいたりする場合があります。
 - その状態でいきなりフルキャストすると、ライン放出の妨げになり、最悪の場合はラインが高切れして、ルアーをロストすることもあります。
 - ラインが食い込んだり、くっついていたりした状態をほぐし、スプールによくラインが馴染んだ状態になったら、徐々にキャスト時の入力を強くしていただくことをお勧めします。
2. ロッドの弾力を利用して、「乗せる」キャストを心掛ける。
 - 「コンパクトなスイングでピュッと振り切る」ようなキャストはトラブルの元です。スイングの初速～中盤～終盤までのスピード差を極力少なくする意識でキャストしてください。
3. ジャークや、シャクリ等で、ラインがフケ気味に巻かれる場合は、テンションを掛け直す。
 - 糸フケが多く出ている状態で使い続けると、上のラインが下のラインに食い込みやすくなります。ラインが食い込むと、次のキャスト時のトラブルに繋がります。
4. キャスティングの中で、ゼロアジャスター(メカニカルブレーキノブ)を緩め過ぎない。
 - 緩め過ぎると、トラブルが増えます。緩め過ぎは逆効果です。
 - ※ゼロアジャスター(メカニカルブレーキノブ)の設定については、リール本体の取扱説明書の「ブレーキ設定方法」の欄を参照ください。
5. リーダーとの結節部が、ロッドのガイドから外側に出るようにする。
 - リーダーが長いと、キャスト時に結節部がガイドに絡み、高切れの原因となります。
 - リーダーを長く取らざるを得ない場合は、ノット部を極力小さくすることをお勧めします。

Q. 向かい風のときには?

A. マグダイル目盛を大きくして、余分なラインが出ないようにすることで、トラブルを減らすことができます。それでも、バックラッシュをしてしまうときには、はじめてゼロアジャスター(メカニカルブレーキノブ)を締めていきます。

Q. ナイロンやフロロカーボンラインは使えないの?

A. 本製品はPEライン専用設計のため、PEライン以外を使用するとスプール変形のリスクや、トラブルが発生する可能性があります。ナイロン、フロロラインは使用しないでください。

●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合はお買い求めの販売店、または右記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料)携帯電話からもご利用できます

TEL 0120-506-204 【受付時間】 9:00～17:00
(土・日・祝祭日は除く)

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

<http://sportlifeplanets.com>

株式会社スポーツライフプラネット

〒190-0031

東京都立川市

砂川町8-79-1